

3回戦

10年秋季リーグ
第3週・9月24日
2勝1敗

監督「あれがエース」

勝ち点奪取!! 駒大3-1専大

内野安打適時打で、先制点を挙げる森田



3連投するも、好投で完投勝利を挙げるエース

白崎勇、今季初完投!

打線は4回に代打・森田哲平(営4)の二塁内野適時安打で先制すると、続く6回にも2点を挙げて相手を突き放す。先発・白崎勇気(営3)は7回に本塁打を浴びるが、完投勝利を収め今季初の勝ち点をつかんだ。

この試合に勝たなければ一部昇格への切符を失う可能性のある駒大。なんとかしても勝ち点をあげたいところ。

打線は3回に1死三塁で先制の好機を迎えるが、赤木義英(営4)がスクイズを失敗し、得点を奪えない。

だが4回、2死二、三代打・森田が打席に立つと、

駒大	000	102	000	3
専大	000	000	100	1

【駒大】	打安点
⑥岡	401
④赤木	421
⑤白崎浩	400
DH北嶋	300
HD柳原	100
⑦山下	420
③笠間	310
⑧小林	520
⑨奥野	100
PH森田	111
R9嘉数駿	110
②戸柱	210
計	33103

▽二塁打=嘉数駿、笠間

回	打安責
○白崎勇	9 3651



中前適時打を放つ赤木

「どんな形でも1点を取ったかった」と、打球はボテボテだった二塁内野適時安打とし、先制に成功する。6回には小林勇登(経2)、嘉数駿(政3)の連打などで1死満塁とする。岡将吾(法3)が四球を選び、押し出しで追加点を挙げると、続く打者・赤木が「スクイズ失敗してたんでここで打点をかせがないと」と、失敗を払拭するように中前適時打を決める。

先発は、3連投となる白崎勇がマウンドに立つ。7回に「狙っていたや」と、主将・笠間将裕(商4)の目には勝利しか見えていない。もう勝つしか優勝への道は残されていない。次の日大戦も勝ち点を挙げただけ。

写真=菊池美紀、堀江あゆみ、野木聡介、文=丸山翔太

今季、初安打を決める嘉数駿



戸柱 恭孝

専大戦で活躍した新たなHERO、戸柱恭孝(現2)。かつては代打としての出場が多く、公式戦での活躍は少なかった。だが、今夏のオープン戦から捕手として数々の試合を経験。打撃でも勝負所で打点を挙げるなど、実績を残した。

そしてついに専大2回戦では、3回から上村新(営4)に変わり大役を任された。好リードで勝利に貢献し、チームに新たな風を吹き込んだ。3戦目では、公式戦初スタメンの座を勝ち取る。「勝つことに必死だった」と余裕はなかったようだが、強気の配球でエースを完投へと導いた。

◆戸柱 恭孝【とばしら やすたか】
1990年4月11日生/捕手/右投左打/178㎝75㎏
/鹿屋中央高校出身/経済学部現代応用学科在籍

「勝ち点のかかった試合でよくやった」と監督も大絶賛。新たなバッテリーが誕生した専大戦、女房役・戸柱の活躍に注目だ。(菊池美紀)



PICK☆UP!